

杉の巨木 吉栗山から出雲大社へ

いづものくにふどき
出雲国風土記「高層神殿」追体験事業
イベント「杉の運び出し」



『出雲国風土記「高層神殿」追体験事業』は、古代出雲大社高層神殿の三本柱の柱立てを再現する事業で、出雲国風土記に「出雲大社の宮材を造る山」と記載されている吉栗山(佐田町)から杉の巨木を伐採し、神戸川を流し、神門通りを賑やかに里曳きを行い、最終的には出雲大社境内に立てる事業です。

8月4日には、子どもたちにふるさとに対する誇りや愛着を育むことを目的とした体験事業として、吉栗山から切り出した長さ6mの杉の丸太を、地元住民が見守るなか、地元の児童50人と保護者で、吉栗山から神戸川までの約600mの区間を、地元獅子舞保存会の獅子舞を先頭に『イベント「杉の運び出し」』を実施しました。(関連記事6ページ)



出雲神話まつりで岩谷ホタルさんが
「愛しきわが出雲」を初披露!

「第8回出雲神話まつり」が、8月10日・11日に開催されました。両日のステージイベントで、竹内まりやさん作詞作曲「愛しきわが出雲」のピアノバージョンを歌う岩谷ホタルさん(出雲市出身)が曲を披露しました。10日には、35団体約1,000人の踊り手がくにびき中央通りを「出雲盆踊り」で練り歩きました。また、「出雲キャンドルナイト」も同時開催され、ろうそくの灯りが幻想的な雰囲気を出し、大勢の方でにぎわいました。

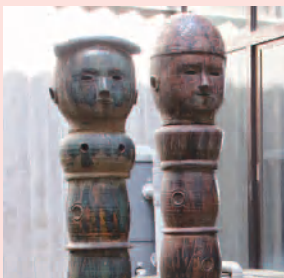
11日の花火大会では、斐伊川の神立河川公園(大津町)を会場に約8,000発の花火が打ち上げられ、出雲の夜を彩り、大勢の見物客を魅了しました。



140年の歴史に幕
わにぶち いのめ
鱈淵小学校猪目分校閉校

8月11日、平田地域の猪目町にある市立鱈淵小学校猪目分校で、地元の卒業生や教職員ら134人が出席し、閉校式が行われ、140年の歴史に幕が降ろされました。猪目分校は、明治6年(1873年)5月に開校し、現在地には、明治39年(1906年)に移転しました。開校以来、729人の方が卒業しました。

3年前に校舎の外壁が崩落して安全面に問題が生じたことや2年前から児童が2人となったことから休校となり、今年3月で閉校となりました。この校舎は解体し、跡地には市民の交流や社会教育の場、避難所等に活用できる施設が完成する予定です。



「はにわ」2度目の引っ越し

この「はにわ」は、昭和48年に出雲商工会議所の庭の片隅でねむっていた、日展作家の彫刻家である故安達貫一氏の作品「はにわの噴水」を、殺風景な市役所(旧庁舎)中庭に池をつくり設置したもので、何年も市民や職員に憩いのひとときを与えていました。このたび市役所旧庁舎解体工事に伴い、この「はにわ」を荒神谷史跡公園へ移すことになり、「2度目の引っ越し」となりました。「はにわ」は、男女2体で、出西窯でつくられたものです。

なお、旧庁舎の解体は、来年2月頃までの工期の予定で現在取り壊しています。皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。



人口：174,755人
男性：84,335人
女性：90,420人
世帯数：60,755世帯

[平成25年8月31日現在]

10月の市税・保険料の納期限

市県民税(第3期)・国民健康保険料(第4期)・後期高齢者医療保険料(第4期)・介護保険料(第4期)の納期限は **10月31日(木)**です。

期限までに忘れずに納めましょう。